記者発表（~~発表~~・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	ＴＥＬ	発表者名 （担当係長名）	その他の 配布先
４／28 （水） 10:00	阪神南県民センター 県民交流室 総務防災課	ダイヤルイン 06-6481-4519	県民交流室次長　星野　美佳 （班長（企画防災担当）森田　哲弘）	－

連休中、阪神間モダニズムに思いを馳せてみませんか

大正時代から昭和初期の時代を中心に、阪神間に住む人々が日常生活の中に西洋様式を取り入れ、独自に育んだ「阪神間モダニズム」は、建築、美術、ファッション、美食など、様々な文化が影響し発展してきました。この阪神間モダニズムは、様々なかたちで生活に溶け込んでいますので、連休中に地域の歴史に思いを馳せながら動画やリーフレットを見て楽しんではいかがでしょうか。

記

１　「阪神間モダニズム再発信プロジェクト」とは

本県では2030年のめざす姿や新たな兵庫づくりの基本方針を定めた「兵庫2030年の展望」を平成30年度に策定し、兵庫の未来を開く先駆的な取組を設定し、10年をかけて推進することとしており、阪神間では地域リーディングプロジェクトの一つとして、「阪神間モダニズム再発信プロジェクト」を実施することとしています。

このたび、「阪神間モダニズム再発信プロジェクト」の推進にあたり、基本構想策定委員会において審議を重ね、基本構想を策定しました。なお、当該プロジェクトについては、10年程度に渡って事業を計画的、継続的に実施していくことを想定しています。

２　「阪神間モダニズム再発信プロジェクト基本構想」の概要

阪神間モダニズムの文化的、社会経済的特質や阪神間モダニズムの再発信に向けた提言、行政の施策展開の方向について記載しています。

基本構想全文　　リーフレット

【提言の主な内容】

(1)　阪神間モダニズムの精神を受け継ぐ場や機会の創出
(2)　阪神間の地域資源をいかしたストーリーづくり
(3)　美食を育む阪神間
(4)　大学などの教育機関を中心としたつながりづくり
(5)　「具体」の再発信
(6)　阪神間モダニズムのＰＲ戦略　　など

３　「阪神間モダニズム」解説動画

阪神間の魅力を育んだ自然環境やライフスタイル等の動画が視聴できます。

https://www.youtube.com/watch?v=iBAQNHMnYbw&list=PLEh2BEeWk1MypcjAey0dOoVKIOMR2-vhA&index=1

阪神間モダニズム
チャンネル

４　問い合わせ先

兵庫県阪神南県民センター県民交流室県民・総務防災課（企画防災担当）

〒660-8588 尼崎市東難波町5-21-8
TEL：06-6481-7641 FAX：06-6481-8148　E-mail：hanshinm_kem@pref.hyogo.lg.jp

【参考】

１　阪神間モダニズムとは

大正時代から昭和初期にかけて、鉄道沿線の住宅地開発によって生まれた新たなライフスタイル、芸術文化、価値観などの時代の潮流を指します。

２　基本構想の対象地域

本基本構想における阪神間は、神戸市の東部、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市及び猪名川町を指すものとしますが、阪神南県民センター及び阪神北県民局の施策や事業の展開に当たっては、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市及び猪名川町の７市１町を対象地域とします。

３　阪神間モダニズム再発信プロジェクト基本構想策定委員会委員

〇加藤　恵正　兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授
◎河内　厚郎　文化プロデューサー
岸　　桂子　毎日新聞阪神支局長
田辺　眞人　園田学園女子大学名誉教授
平井　章一　関西大学文学部芸術学美術史専修教授
三宅　正弘　武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科准教授
矢下　幸司　観光ジャーナリスト
（五十音順、委員長は◎、副委員長は〇）